

一般会計154億8,900万円 特別・企業会計275億6,600万円

【未来への活力を育むまちづくり】

小松島市ふるさと応援寄附金事業（ふるさと納税） 2,494万1千円

魅力あるブランド産品を発信し、体験型商品の発掘にも取り組みます。加えて、市制施行70周年記念事業を始めとする本市の新たな取り組みに対し、賛同いただける企業にアプローチを行うなど、企業版ふるさと納税への取り組みも推進し、更なる歳入の確保に努めます。

商工業振興事業 1,775万9千円

新型コロナウイルス感染症の影響で消費活動が縮小しているなか、事業継続に向け努力している市内事業者の経営基盤の安定化を図り、地場産業の育成及び商工業の振興に取り組みます。

【みんなで創るまちづくり】

市制施行70周年記念事業 188万7千円

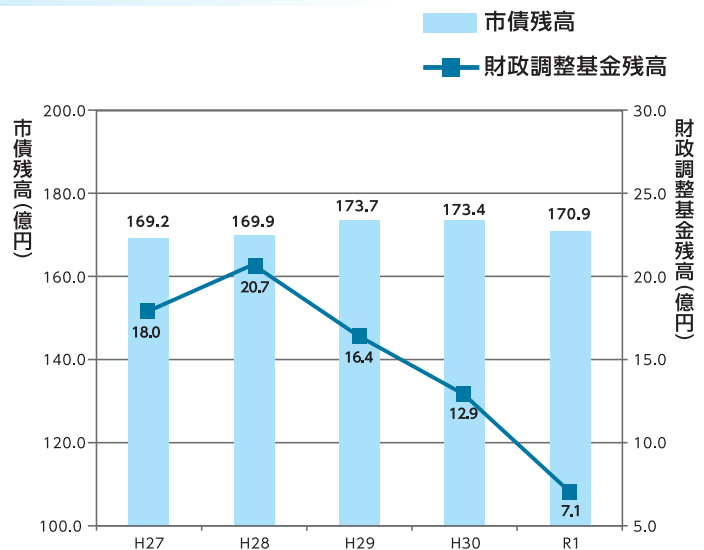
令和3年6月1日に市制施行70周年を迎えることから、市制施行日に記念式典を執り行うほか、ラジオでのNHK公開番組収録などの記念事業を開催します。

本庁舎1階ロビーリニューアル事業 235万円

市がふるさと名物応援宣言を行った「徳島すぎ」を活用した木質素材製品や加工品を利用し、本庁舎1階ロビーの一部を、市民に親しまれる空間へとリニューアルします。

貯蓄と借金の推移

決算ベースにおける貯金（財政調整基金）と借金（市債）の年度末残高の推移です。市債残高については、直近5年間で見ると平成29年度末の173億7,000万円をピークに徐々に減少しています。財政調整基金については、継続的に実施していく必要のある大型建設事業や、少子高齢化に伴う社会保障関連経費及び公共施設等の適正管理に向けた取り組みなどを原因として、基金を取り崩して収支の均衡を保っている状態が続いています。基金は、次世代につなぐ貴重な財源であるため、計画的で身の丈に合った財政運営に努めていきます。



特別・企業会計当初予算

【特別会計予算】

特定の事業を行い、一般会計と区別して経理を行う会計

特別会計名称	令和3年度予算額	対前年度比
競輪事業	163億6,000万円	16.9%
後期高齢者医療	6億2,276万9千円	1.9%
住宅新築資金等貸付事業	1億3,015万4千円	△18.9%
国民健康保険	44億8,955万円	△1.2%
土地取得事業	1,610万円	前年度と同額
介護保険	39億209万1千円	1.7%

【企業会計予算】

地方公営企業法が適用され、独立採算により経理を行う会計

会計名	収支	区分	令和3年度予算額	対前年度比
水道事業	収益	収入	8億3,143万3千円	△0.8%
		支出	7億5,025万円	3.5%
	資本	収入	3億3,781万6千円	△5.9%
		支出	6億4,068万7千円	△16.8%
下水道事業	収益	収入	3億9,574万円	△23.8%
		支出	3億9,404万1千円	△15.7%
	資本	収入	2億5,825万4千円	△9.3%
		支出	2億5,988万8千円	△8.7%